

R7 中体連岐阜県大会 ソフトボール

1. 期 日 令和7年7月26日(土)、27日(日) 予備日 7月28日(月)
雨天順延 問合せは6:00以降
監督会議 8:00 審判・記録会議 8:15
開会式 行いません 試合開始 9:00
2. 会 場 富加町半布ヶ丘公園グラウンド
3. 規 則 2025年オフィシャルソフトボールルールに準じる。
4. 参加資格
 - ・各地区から選抜された中学校部活動女子チーム
 - ・女子クラブ1チーム※詳細は「11. 地域スポーツ団体等の参加について」に記載
5. 競技方法
 - ・トーナメント法 7回戦とする。
 - ・3回15点、4回10点、5回以降7点差があれば、コールドゲームを適用する。
 - ・7回終了時に同点の場合は8回からタイブレーカーを適用する。
 - ・本部で協議の上、悪天候により試合続行が不可能と判断した場合
 - (ア) 5回が成立していない場合、ノーゲームとし、翌日再試合とする。
 - (イ) 5回以降、コールドゲームを適用する。
 - ・熱中症対策として、3回表、5回裏終了時に3分間の給水タイムを設ける。また、攻撃時間20分を目安に、両チームの監督、審判、および県ソフトボール専門部の申し合わせのもと、給水タイムを設けてもよい。また、準決勝、決勝以外は試合時間を90分間(給水タイムを含む)とし、90分を超えて新しいイニングには入らない。制限時間経過後同点の場合はタイブレーカーを適用する。
6. 試合規定
 - ①使用球はゴムボールの公認球(ケンコー：3号ボール)で、主催者が準備する。
 - ②バットは3号検定バットとする。
 - ③選手の金属スパイク、セラミックスパイクの使用は禁止する。
 - ④背番号を付ける。(主将10、監督30、コーチ31、32とする)
7. 表 彰 優 勝 賞状と優勝旗(持ち回り)とメダルを与える。
準優勝 賞状と準優勝盾(持ち回り)を与える。
3位(2校) 賞状を与える。
8. 審 判 員 県ソフトボール協会に委嘱する。
9. 申し込み 期日までに、下記の宛先の申し込みを行ってください。
〒509-0207 可児市今渡112 蘇南中学校 若宮暖
TEL: 0574-62-1010 FAX: 0574-60-0392
Mail: sonan@school.city.kani.gifu.jp
※参加料(登録選手1名につき1500円)を大会当日受付で納入すること。
※6月30日(月)の正午までにプログラム(競技要項)作成用の申込書をメールに添付して送ること。公印入り申込書は大会当日の受付時に提出する。事前にFAXする必要はない。
※監督は、選手名簿を作成して大会関係者に配布する旨を、選手及び保護者に伝え、了承を得る。了承が得られない場合は参加できない。特別な事情がある場合は申し出ること。
※申込みがされたチームには注意事項が書かれた文書を送付するのでしっかりと確認するようにしてください。

10. 留意事項

- ①選手は18名以内とする。（スコアラーの生徒はこの18名に含める）
- ②申し出は監督に限る。
- ③ベンチ入場者は選手18名、監督1名、コーチ2名、引率教員1名の計22名までとする。登録選手以外の選手は、自チーム側の応援席にすること。
- ④監督を兼務しない引率責任者の服装は、襟付きのシャツ・長ズボン・またはスカートで靴を履くこと。（Tシャツ、サンダルやハイヒールは禁止）
- ⑤ユニフォームの背中に個人名を入れる際には、プログラムに掲載の姓名を表示すること。（姓または名のみでもよいが、ニックネームなどは不可とする。）
- ⑥監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）のユニフォームの上着は、選手と同色・同意匠のものとする。裾を外に出すユニフォームの時は、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）は中に入れるタイプでもかまわない。
- ⑦選手が襟付き、またはノースリーブのユニフォームの場合、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）も同じものを着用する。また、選手が半ズボンの時、監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者（コーチ）は同色のズボンで良い。（サイドラインなどがなくてもかまわない）
- ⑧選手のサングラスについては、眩惑による危険防止や健康上の目的での使用を認めるが、視野の狭窄や明るさの減衰による視覚の低下、破損について十分に配慮すること。なお、アイシェードなどは認めない。監督は、選手交代の通告など審判員と会話する時ははすすこと。
- ⑨審判・専門部が中体連の大会としてふさわしくない行為（審判・選手に対するアピール・暴言など）を繰り返し行った場合、試合会場から退場とする。
- ⑩フィールドイングは各チームとも5分以内とする。第2試合目以降、同会場の場合は行わない。
- ⑪次試合のチームの主将は、原則、前試合の4回終了時または試合開始前30分前にバックネット裏に集合し、オーダー表を提出するとともに、先攻後攻を決める。
- ⑫本大会は東海中学校総合体育大会の予選を兼ね、優勝と準優勝のチームが出場する。
- ⑬コーチャーズボックスの一方に、監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。
- ⑭メガホンはベンチ内で1つのみ使用可とする。（笛、太鼓、ペットボトル、メガホンやうちわなどの鳴り物は使用不可）
- ⑮競技場の外野及びファール地域フェンスの内側には、校旗（部旗）・横断幕・のぼりなどを掲示しない。
- ⑯試合中は、ベンチ内で写真・動画の撮影は行わない。
- ⑰投球時、投手がセットしたらリリースするまで、ベンチもスタンドも応援を中断する。
- ⑱ゲーム中の控え選手のピッチング練習は、ファール地域で1組のみとする。捕手は必ずマスク着用をすること。
- ⑲応援席などベンチ外から作戦指示・それにとまなう助言はしてはならない。そのような行為が見られた時は、監督または該当者に注意する。
- ⑳試合進行を迅速にするため、試合後のあいさつは、ホームベースをはさんで行う1回のみとする。審判・相手チーム・ベンチ・応援席への個別のあいさつは重ねて行わない。

11. 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加について

- （1）県大会に地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）枠を1チーム設ける。
- （2）地域クラブの参加は、岐阜県大会からとする。また、中体連登録及び日本ソフトボール協会のチーム登録をしており、チーム内に次のいずれかの資格を有する者がいることとする。
 - ① 公認コーチ1～4（公認指導員・上級指導員・公認コーチ・上級コーチ）
 - ② 公認準指導員
 - ③ 岐阜県教育委員会主催 地域指導者育成研修受講者とする（県大会までの適応）。
- （3）県大会出場候補となるクラブチームが複数いる場合には、該当チーム同士の申し合わせにより出場チーム決定戦を行うこととする。ただし、出場チーム決定戦の期日は6月に開催される「県中学生大会（兼）全日本・中日本予選会」以降とする。
- （4）（3）の出場チーム決定戦の開催に当たって必要な諸事項は、該当チーム同士の申し合わせによって決定することとする。
- （5）8月に開催される「全日本中学生女子大会」及び「中日本総合女子ソフトボール選手権大会」に出場するクラブチームには、中体連岐阜県大会の出場権はない。

- (6)「学校部活動から移行した地域部活動」や「休日と平日の扱いが異なるチーム」等については、県ソフトボール専門部での判断により、学校部活動としても扱うことができるものとする

12. 組合せ

- ・若番が1 塁側ベンチ
- ・申し込み期限終了後、専門部の抽選により組み合わせを決定します。

13. 合同チームの参加に関わって

岐阜県中学校体育連盟の「複数合同チーム参加規定」に準じる。ソフトボール競技に関しては以下の内容を確認すること。

(1) ユニフォームについて

- ①合同チームは、それぞれのチームのユニフォームで参加することができる。ただし、ユニフォームナンバーは重複してはならない。
- ②監督、コーチについては、いずれかのユニフォームと同型、同色であればよい。ただし、ユニフォームナンバーは重複してはならない。
- ③上記については、生徒及び保護者の負担軽減のための、岐阜中学校体育連盟ソフトボール専門部としての申し合わせ事項である。東海大会、全国大会においては、ユニフォームを統一することが定められている。

- (2) 合同チーム参加規程外で承認されたチームは東海大会出場の権利はない。該当チームが決勝戦に勝ち上がった場合には、決勝戦と同時刻に、対象のチーム同士による東海大会出場校決定戦を行う。